

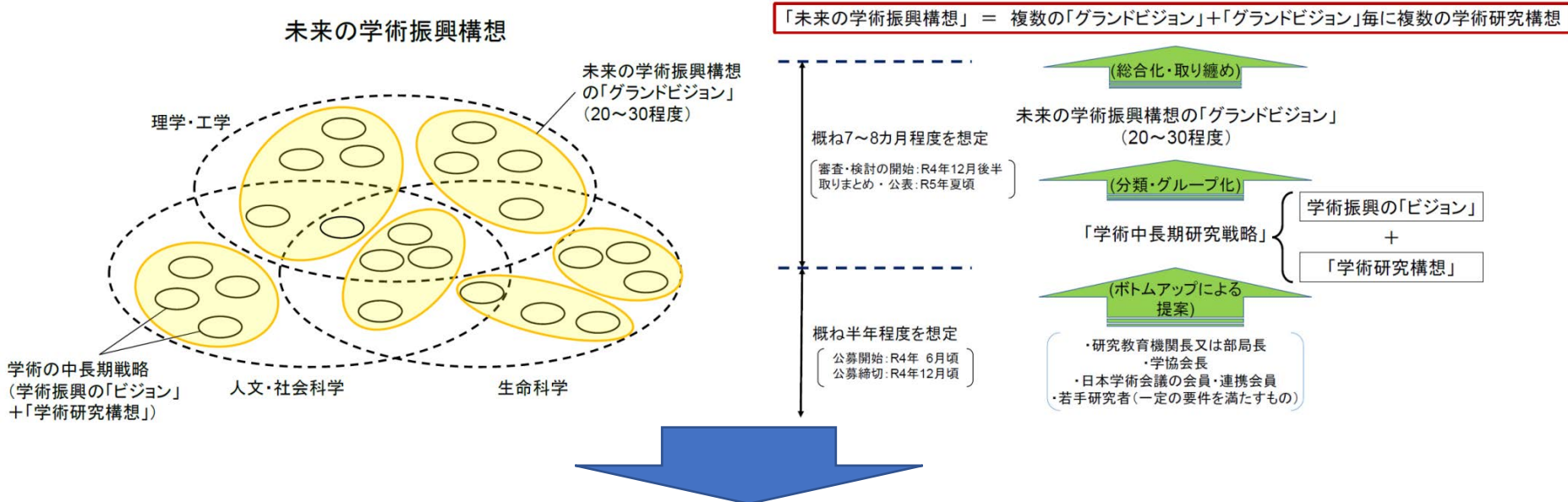
## 公募の概要

日本学術会議が、今後20～30年頃まで先を見通した学術振興の「グランドビジョン」を示すために、新たに「未来の学術振興構想」を策定、さらにGV実現の観点から必要となる「学術研究構想」を提示する  
広く科学者コミュニティから、専門的な知見に根差した今後20～30年先を見通した学術振興の「ビジョン」と、その実現のために今後10年程度で実施することが必要な「学術研究構想」を募集

- 「研究計画」：科学研究費補助金等で実施困難なもの 予算の下限は設けない
- 「施設計画」：国策としてトップダウンで整備する施設との区別を明確 上限2000億円

締切：2022年12月16日

## 未来の学術振興構想の策定プロセス



大型研究マスタープラン2020に採択された提案を基に、以下を提案したい

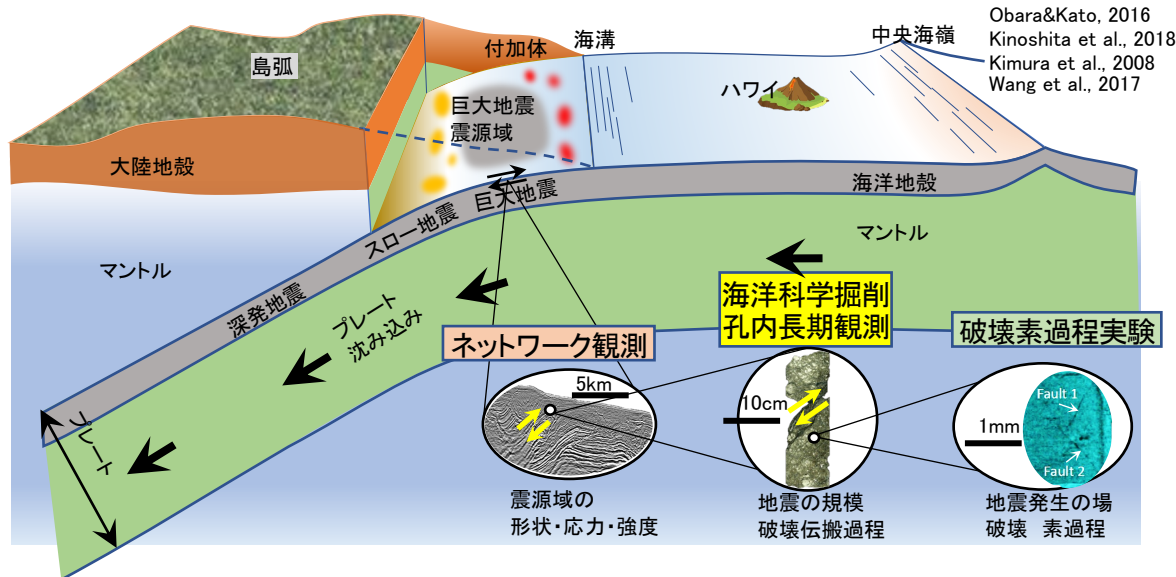
広域観測・試料採取・微視的実験による沈み込み帯プレート地震メカニズム研究の新展開

# 広域観測・試料採取・微視的実験による沈み込み帯プレート地震メカニズム研究の新展開

提案者: 佐竹健治 (地震研所長・SCJ会員)  
 連絡担当者: 木下正高

## 学術的意義

地震発生には、岩石**破壊**(秒,  $\mu\text{m}$ スケール)から**プレート運動**(100万年, 100kmスケール)まで、複雑な過程が関与  
 広域観測・海洋科学掘削・実験を統合的に実施し、地震準備・破壊仮定を「漏らさず」観測する。



Obara&Kato, 2016  
 Kinoshita et al., 2018  
 Kimura et al., 2008  
 Wang et al., 2017

## 実施主体

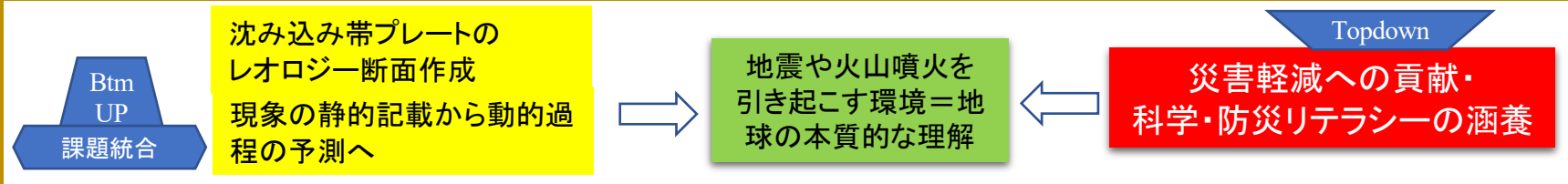


**実施主体**

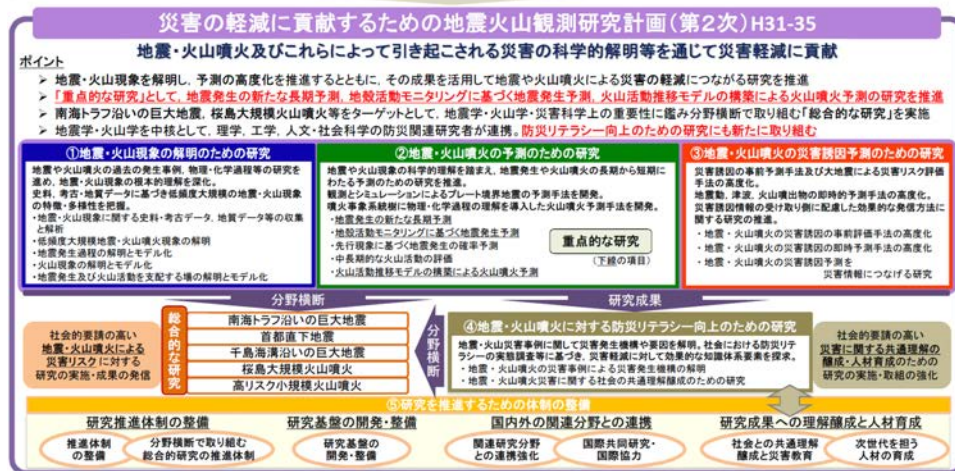
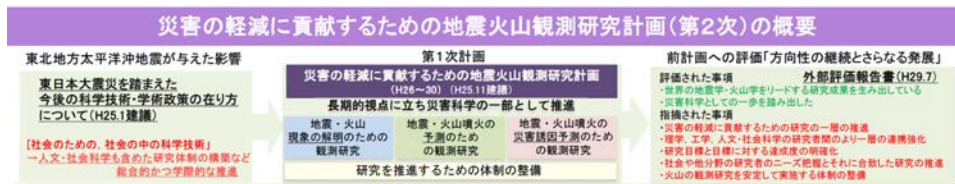
- JAMSTEC 東京大学地震研究所
- 地震・火山噴火予知研究協議会
- J-DESC
- 海洋GNSSブイ
- GRC (Geodynamics Research Center)



## 統合のシナジー効果・社会的価値



# 建議への貢献



## ①地震・火山現象の解明のための研究

地震や火山噴火の過去の発生事例、物理・化学過程等の研究を進め、地震・火山現象の根本的理解を深化。

史料、考古・地質データに基づき低頻度大規模の地震・火山現象の特徴・多様性を把握。

- 地震・火山現象に関する史料・考古データ、地質データ等の収集と解析
- 低頻度大規模地震・火山噴火現象の解明
- 地震発生過程の解明とモデル化
- 火山現象の解明とモデル化
- 地震発生及び火山活動を支配する場の解明とモデル化

この部分のうち、特に海底・海底下の観測やサンプル分析に集中する  
また国際的な連携を強化する